

# 熊谷市立三尻中学校 第1回制服検討委員会報告

熊谷市立三尻中学校

- 日時 令和5年7月24日（月）15時30分から16時40分まで
- 会場 三尻中学校図書室
- 代理出席者・欠席者
  - （代理出席者）籠原小PTA会長：野間謙治 →（代理）PTA副会長：松島久司
  - 三尻小校長：長谷川雅夫 →（代理）教頭：金子聖
  - （欠席者）三尻中職員：松浦達也、藤田豪、安達由紀

## 1 説明

- （1）制服検討委員会の立ち上げの経緯及び組織の確定について 三尻中校長：田沼良宣
- （2）制服に関するアンケート結果について 三尻中教頭：新井美保子  
別紙「制服の見直しに関するアンケート調査結果」参照

## 2 協議

- （1）質疑応答
  - ・市内中学校の制服の改定状況は？ → 「市内の学生服の改定の状況」説明
  - ・すでに改定をした中学校の「制服検討委員会」の記録等は入手できるのか？  
→ 入手可能である。
- （2）協議 ※主な意見等を抜粋
  - ①今後の方向性について
    - ・アンケート結果等を踏まえると改定の方向で進んでいいのではないかと。
  - ②改定にあたっての留意点について
    - ・ポロシャツなどの導入があればと思う。また、キュロットの導入があれば、ハーフパンツを着る必要もなくなる。
    - ・着やすいものになれば、ジャージ登校にしなくても制服でちゃんと登下校できて生徒の思い入れも強くなる。
    - ・今の制服のままだと、女子は下着の上に体育着を着て、ワイシャツを着てベストを着ており、3枚着ることになる。だから、この機会にしっかり検討してあげたい。
    - ・制服を着ると、足がゴワゴワし違和感がある。制服が重い感じがすると着る気が失せてしまうので、アンケート結果にもあるように着心地はとても大事だと思います。
    - ・女子の制服は伸びない。洗濯ができるなど多少の改良はあるようだが。
    - ・冬はスカートだと寒い。スラックスが後から認められたが、両方買うのは経済的負担も大きいので皆買っていない。

- ・大人の立場では経済性が重要。制服は少量生産のためどうしても高くつく。選択肢は増やした方が良い。家庭に応じて選択できる。人それぞれニーズが違う。
- ・制服の意義には教育的な部分がある。TPO をわきまえて行動する感覚を身につけさせることも必要。制服をどういう場面でどういう風に着るのかというのを自分で判断できるところまで育てていく必要がある。きまりで縛って教え込むのではなく、最終的には自分で判断して、その場に応じた服装を選んだり、身だしなみを整えたりするなどの行動ができる子供を育てていくという観点を持っていると良いかと思う。
- ・経済的な面が気にはなる。現在のものより「高くなる」状況がなければ保護者の方は安心するのではないか。
- ・資料の社会的背景のところについては、広く周知すると理解が求められると思う。
- ・生徒が使うものなので生徒の意見を大切にしていく。子供が主体的に参加できるしくみを。三尻小で地域と関わっているが地域のつながりがとても強いと感じる。制服が変わってもアイデンティティ・地域愛を大切に作る。

### ③改定のスケジュールについて

- ・スケジュールについては、初期段階（第1次選考のところから意見を吸い上げる機会を設けた方が良いのではないかと。先ほどの学校側の説明で第1次選考は学校でおっしゃったが、先程から意見が出ている内容は、ここまでに関わってくる（例えばストレッチ性のある素材）などはデザイン以前のことであり、保護者の意見などはもっと前で聞いておいた方が良いのではないかと。実際に着ている生徒や洗濯する保護者、お金を負担する保護者から初期段階でもう少しかかわる機会をもったらよいのではないかと。
- ・制服検討委員会を立ち上げたことをオープンにしても良いのでは。（学校だよりなどで）その方が、さまざまな意見も入ってきやすくなる。
- ・メールで再度アンケートをとってみては。制服の生地とか少し細部を聞いてみては。
- ・地域等への事前説明の時間も必要である。
- ・次回の本委員会の実施日も含めたスケジュールは学校で検討し、改めてお示しする。

### ④その他 ジャージ等について

- ・三尻中のジャージはかっこよく、着やすい。体育着も問題なし。靴下について、他校は黒を認めている。
- ・生徒会の目安箱での生徒意見で第1カバンが猫背になってしまうので変えてほしいとの意見があった。